

月刊 CHANNEL

税理士事務所

●監修●
ミロク会計人会連合会

2013.1

No.377



場所：オホーツク海から知床連山の初日を望む（北海道斜里町）

1

ま る ご と 連 合 会

- ミロク会計人会連合会 役員 ●年頭挨拶……………2
- ミロク情報サービス代表取締役 是枝周樹社長 ●年頭挨拶……………5
- 連合会 INFORMATION ●「第37回全国統一研修会・東京大会」開催報告……………6
- MJS INFORMATION ●MJS設立35周年パーティ……………10
- 「第37回全国統一研修会・東京大会」●基調講演……………11
- 「第37回全国統一研修会・東京大会」●第1分科会……………13
- ミロクシステム Q&A ●『ACELINK NX-Pro 法定調書(よくあるお問い合わせ)』……………15
- リレーエッセイ ●関東信越ミロク会計人会 井上泰一……………19

★次号は“まるごと中部会”です。

2013 初春

ミロク会計人会役員 新年のご挨拶



ミロク会計人会連合会
会長 平川 忠雄

ミロク会計人会の会員の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の全国統一研修会・東京大会では、株式会社ミロク情報サービス(MJS)の東京証券取引所市場第一部への上場のご報告を兼ねた35周年記念パーティが同時開催され、東京会の役員・会員の先生方には多大なご協力をいただきました。また、全国の各単位会の会員の先生方やご家族等の多数のご参加を賜り、誠にありがとうございました。

平成25年度税制改正は、昨年末の総選挙などの関係にて本年に持ち越されており、異例な改正経過となっておりますが、社会保障・税一体改革という枠組みにおいて、所得税、相続税・贈与税や延滞税等の見直しが入り、また中小企業税制の整備が盛り込まれます。

消費税率の見直しに備えた対応、中小企業者の方々の消費税額転嫁対応が本年の大きな課題となり、会員先生方のご指導が必要となるようになります。

ミロク会計人会連合会における各単位会の活動におきましては、ING生命との業務提携が一段と活発になる年だと思えます。益々のご協力を賜り、会員の先生方への利益配分と会計人会の拡充のためにご助力をくださいますようお願い申し上げます。

日本経済は新しい政府のもとに一段と景況の回復の方向が見える年になりますよう、経済社会のリーダーである先生方のご活躍を心から祈念いたし、本年のご健康、ご発展を祈念いたします。



北海道会長
井内 敏樹

明けましておめでとうございます。

初「日の出」だけではなく、毎朝の「日の出」にさえ手を合わせ、新たな時を迎えられたことに感謝し、おめでたくありたいと念じてきたのが日本人なのでしょう。長期的な経済の低迷や震災を経験してきた今、強い「念」を持ち、あらためてもう一度、言いたいと思います。「新年明けましておめでとうございます」。

昨年の中小企業会計要領、「中小企業経営力強化支援法」による支援機関の認定と税理士制度とのかかわりから感じたのは、税理士業務が申告書の作成代理から始まり、決算書の作成、会計業務全般、またさらには経営相談、指導業務と拡大してきたということです。このことは無論、税理士・公認会計士の努力によるものですが、それ以上にこれらの業務の担い手を社会が必要としてきたからでしょう。

日本は全企業の95%以上を占める中小企業によって支えられています。専門的な能力を持った人材を確保できない企業にとって、税理士制度はもはや社会のインフラといつてもいい存在となっています。

日本の再生・発展のために本来業務、付随業務にかかわらず、このような社会のニーズに応えていかなければと決意を新たにしています。



東北会長
福嶋 朗

明けましておめでとうございます。

東日本大震災より、早1年10カ月が経ちましたが、被災地の復興とくに市街地の復興は遅々として進んでいないというのが現状です。

まちづくりブランドデザインの意見集約の難しさ、それに対応する予算措置の不徹底など、原因はいくつも考えられますが、復興庁を最大限に活用し、大胆な国有化も含めた方策が求められます。

また、金融円滑化法が2013年3月31日で期限切れとなりますので、被災企業にさらなる負担がかかることのないよう、激変緩和などの施策を是非お願いしたいところで

す。

目を転じて、我々の業界を取り巻く環境は、消費税増税を間近に控えています。また課題山積の状態です。本年10月1日の指定日を前に、すぐに対策を講ずるべく動き出さねばなりませんし、我々が関与しております中小企業が、取引上不利とならぬよう価格転嫁対策などの相談にも応えていかなければなりません。

そして、我が東北は他会と比べ、地区会活動が不活発かと痛感しておりますので、今年の目標といたしまして、地区会活動の活性化に邁進してまいります。

本年がミロク会計人会の会員先生方にとりまして、良き年となりますことをお祈り申し上げます。



関東信越会長
井上 泰一

ミロク会計人会の会員の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年9月、民主党政権が国民の大きな期待のなかで誕生して3年が経過しました。この間に東日本大震災が発生し、我が国の経済は、大きな打撃を受けました。また、国内外に起きた諸問題に対しても適切な対応が遅れ、初期の期待が大きく損なわれた感がいたします。暮れの衆議院選挙で新たに政権を担う自民党には有効な復興対策、景気対策を講じて長引く閉塞感を打破してもらいたいものです。

昨年はMJSが設立35周年と東証一部上場をはたしました。心よりお祝い申し上げます。我々会計人会にとつて、優れたシステムとサービスを提供していただいているMJSがつねに安定した経営状態にあることを心より望むところであります。

このMJSのシステムを活用して関与先である中小企業の発展のために寄与していくことが我々会計人の役割であると思います。

関東信越会では引き続き会員増強を最重要施策と位置付け、会の目的に沿って充実した活動を推進していきたいと思っております。会員の皆様にとつて本年が、素晴らしい年であることを祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



東京会会長
金井塚 清

会員の皆様にはお健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

一昨年の東日本大震災の復興もはかばかしいかず、被災地のまだまだ厳しい環境のなかで正月を迎えられた方もいらっしゃるでしょう。明るい年となりますよう祈念するばかりです。

昨年は第37回全国統一研修会・東京大会が開催され、全国各地から多くの先生方にご参加いただきました。おかげ様で無事終了となり、深く感謝いたします。本大会は「和」のころ々かたい絆で未来をひらこうとをコンセプトとし、「絆」をキーワードに会員とMJS社員と心をひとつにして成し遂げました。思えば、あの震災直後の我々日本人の行動こそ世界に誇れるにつばんのころです。

指導者トップが変わる国が多い昨今、日本の政治はどうなるのか。そして、経済対策はどうなるのか。不況感が続くなか「復興増税」「社会保障と税の一体改革」と、中小企業は前年よりさらに厳しい状況になるでしょう。中小企業の再生なくして雇用問題も解決できません。中小企業が元気になる活性化対策を期待しております。

今年も研修に会員増強等、充実させるべく努力してまいります。皆様のご理解ご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



北陸会会長
豆本 義弘

『正月立つ 春の初めに かくしつ 相し笑みてば 時じけめやも』
万葉集 大伴宿禰家持

明けましておめでとうございませう。

ミロク会計人会の会員の皆様におかれましては、穏やかなる新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年末ようやく一部に回復の兆しが見え始めた矢先の解散総選挙、そして「政権交代」・「円高」に揺れるなか、まだまだスッキリしない空模様が続こうとしています。

大半の業種は「デフレ・不況・苦境の嵐」。かの夏目漱石は「一陽は、幸なき人の上に來たり復ると聞く」（虞美人草）と記している。景気の春を辛抱強く待つしかないか…。

ところで、北陸ミロク会計人会としては引き続き入会5大特典を強調しながら、さらに会員皆様からの要望を真摯に受け止め、年間10回の認定研修を開催するとともに法人税・消費税の基礎及びシステム研修事業にも力を入れているところです。

さらに「魅力ある会計人会にするため」に、より多くの会員の声を聞き、地域のニーズに合致した研修・情報交換・親睦等の活動を行っていきたいと思っています。

終わりに、皆様にとりましては、昨年よりも一歩でも良き歩みでありますようご祈念申し上げ、蕪辞であります。念頭に際してのご挨拶とさせていただきます。



中部会会長
石川 光男

平成25年の年頭にあたり、全国ミロク会計人会連合会の諸先生方に、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆様方には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、ここ数年来、リーマンショック、東日本大震災、未曾有の円高、少子高齢化の加速などの重層的な諸要因で、とりわけ私どもの顧客であります中小企業の経営環境は厳しさを増すばかりです。

税制においても、昨年「社会保障と税の一体改革」のなかで、来年の4月に消費税の8%実施を迎えようとしています。

昨年末の「総選挙」での結果を踏まえた新体制でのデフレ下、増税など諸課題への取り組みに私たちも自身のこととしてさらに積極的行動をすべき新年であります。中部会においては、「会員の、会員による、会員のための研修・交流」を目指し、意義ある研鑽をより一層推進する年であります。

顧客の「より良い会社づくり」への重要なサポーターのスタンスと閉塞感の打破が私たち会計人の社会的使命であります。

「微差」を大切にして、一歩ずつ明るく前進し、苦難を乗り越えるところに大きな幸せ・やりの入口があります。

本年が会員の皆様方にとり、さらに良い年でありますよう祈念申し上げます。新年のご挨拶いたします。



近畿会会長
林 伸三郎

新年おめでとうございます。

今年の最大の注目は欧米経済の不安、新興国経済の陰りといった世界経済です。日本経済はこうした国外経済の影響を受けやすくなっているだけでなく、日経平均株価はピーク時の4分の1まで下がり、株式の時価総額も半分以下に落ち込んでいます。しかし、日本がそのまま落ちこぼれていくのではと考えるのは余りにも悲観的です。

日本のGDPは世界第3位をキープし、個人金融資産は世界第2位です。我々会計人は中小企業経営者から最強のパートナーとして信頼される位置にあります。否、そうでない「会計人」顧問受任は失格かもしれません。このことを噛みしめ、ミロク会計人会会員は経営者の期待を裏切らないように研鑽を重ね、質を高め、品のある業界のリーダーとしての地位を築きたいものです。

総務委員会懸案のミロク会計人会の財政基盤充実策は、おかげ様で一応の成果を得ました。今年は会員メリットを直接肌で感じる仕組み、つまり、入会したい・退会したくない「会計人会創り」について知恵を出し合いたいと思います。

今後とも、各単位会会員諸兄のご協力ご理解をお願いし、新年のご挨拶とさせていただきます。



中国会会長
武安 紘二

全国のミロク会計人会の先生方におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて昨年は、世界的な経済不況・信用不安のなかで、我が国の景気・経済もこの流れに同調するかのようになに回復基調にありません。加えて昨年末の日本政治の混沌で、一層不況に拍車がかかったようです。

このようななかで、会の母体であるMJSが創業35周年を好況のうちに終えられ、また会社が東証一部に上場されたことは、私どもの誇りであり勇気でもあります。この流れのなかでミロク会計人会は、全国ネットを活用してミロクシステムによるミロクファミリリーとして、MJSスタッフとともに車の両輪として機能し、関与先企業の繁栄にもつながるファミリリーでありたいものです。私どもの会計人会の小さな積み重ねによる事業が、かならず地域再生のテコ入れとなると確信しています。

最後に全国統一研修会は、一昨年在西の都・京都、昨年在東の都・東京で開催され、いよいよ今年は中国会でお世話させていただきます。平和の都、水の都、世界遺産の都である広島へ、全国からのお越しを心からお待ち申し上げます。「広島大会」をよろしくお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



四国会会長
藤本 正義

新年あけましておめでとうございます。

ある中国人の批評家は「自分の過ちを認めよう」としないことが、中国人の欠点だ」と指摘しています。昨年の尖閣諸島問題に端を発した反日デモはその最たるものなのかもしれません。

しかし、文句ばかりいってもしられませんか。我々は日本人として生まれたことに感謝し、何も決まらない政治家は鞭を締め直し、海外から「日本っていいなあ」といわれるような国を目指さなければなりません。昨年は「iPS細胞」の山中伸弥教授がノーベル賞を受賞するなど、明るい、そして誇らしい話題もありました。そういった成果がさらに上がるような国になつてほしいものです。

さて昨年、MJSは設立35周年を迎え東証一部に上場をはたしました。誠に二重の喜びであります。おめでとうございます。今年はまだ一度初心に戻り、企業理念・経営方針・営業5大方針のもと、100年・2000年企業を目指して、全社一丸となつて未来を創っていくことでしょうか。我々会計人也会も素晴らしい一流企業のユニザイ会とともに協力・発展していこうではありませんか。



九州会会長
船越 久人

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様方におかれましては、穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年は東日本大震災からの復興、原発の停止、節電、MJSの東証一部上場、全国統一研修会と同時開催したMJS設立35周年記念パーティー、年末には、衆議院選挙と忙しい一年でありました。

今年は日銀に今の円高を少しだけ円安に持ってきてほしい。そうすれば、どれだけ製造業が助かるか。また、シャープやパナソニックに代表される家電メーカーの赤字決算等については、今の円高が円安に少し振れるだけで解決するかもしれません。こんなにデフレ経済が続くと、インフレ政策でも構わないと考えている国民は多いのではないのでしょうか。本年は中小企業の景気回復の兆しが見えてくればと願うばかりでございます。

また、本年は復興特別法人税及び復興特別所得税制度が施行されますが、我々税理士をめぐる環境は、今後、ますます大きく変化することだと思います。このような、変化する状況のなか、顧問先のために、我々税理士はさらに精進して業務に研修に勤しんでいかなければいけないと考えます。

最後に本年が会員の皆様にとつて、良い年であることを祈念して新年のご挨拶といたします。



沖縄会会長
知花 直治

明けましておめでとうございます。

会員の皆様にはお健やかに巳の年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

大震災後の被災地の復旧復興、さらに福島第1原子力発電所事故の収束もいまだ道半ばであり、政府にはもつとスピード感のある対応を期待したいものです。

地球規模の異常気象、欧州債務問題の再燃、米国経済の失速など世界的に閉塞感が漂っています。国内においても長引くデフレ・円高で先行きも不安要素だらけです。しかし、私たちはあきらめず地域経済活性化のため英知を結集して歩を進めなくてはなりません。

沖縄県は地理的優位性を生かし、那覇空港を東南アジア貿易の拠点としてソウルの仁川国際空港のように24時間運用可能な貨物ハブ空港化を目指しています。それにより地元企業のビジネスチャンスは広がり、また各地方空港と直接つながること

で輸送コストと時間を大幅削減でき、国内工場の海外移転に歯止めをかけ、各地元での雇用維持につなげることが出来るかもしれません。

MJSシステムを活用して私たちは顧問先企業のさらなる発展のためサポートを続けたいと思います。

新しい年が会員の皆様にとりまして、より良い一年でありますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



連合会監事
北村 具頼

新たな年を迎えおめでとうございます。

北陸では昨年後半、伏見金沢国税局長が昭和20年代に、全国の小学校で歌われた「納税の歌」を新聞で紹介し、大きな反響を呼びました。「国を明るくするのにも、楽しい暮らしを生み出すも、先立つものは国のカネ、国のカネ、身体も大事、国大事、サアサア納税ウンよしきたハイオーケー」

以下、5番まで続いています。戦後の再建機運が伝わってくるような歌詞です。

あれから60数年経た現在、震災復旧や厳しい経済情勢への官民挙げての一致団結が必要であり、納税意識を高める話題作りとしてこの歌を再び広げようという趣旨と伺いました。

実は私もこのニュースに大変驚いたひとりで。小学校で習った記憶があり、同じような気持ちから夏以来、新聞や人づてに正確な歌詞を探していたのです。そのことが局や新聞社にも伝わり報道され、またまた話題となりました。そんな不思議な縁で協力を申し出ました。記憶が甦ってくる方もおありかと、したためましたが、新しい年に再び新たな歌として蘇るのも意義深いのではないかと思います。

納税の 意識へ歌も 甦り
幽犀子



連合会監事
鈴木 孝

明けましておめでとうございます。

ミロク会計人会の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。これから世界の方向が大きく変わろうとしています。昨年は欧州の金融不安が長期化し、信用度を示す格付けが下がり不安定な年でありました。

国内においても、民主党政権が3年前に公約したマニフェストが実現されたとはいえませんが、そして、3年間のうち3人もの総理大臣が誕生しました。国会では、政局の競い合いに終始し、経済対策・景気対策は一向に検討されず、長い政治空白を招いたことも事実であります。また、世界各国から日本が蚊帳の外に置かれたような気になることも多くありました。

昨年12月16日の第46回衆議院議員選挙で負託された自民党には、大震災で被害を受けた被災地に対する早急な復興対策・経済や景気対策を望みたいと思います。ミロク会計人会は、中小企業の皆さんが元気を取り戻し、企業の繁栄が実感できるよう努力する所存です。今後もMJSと連携をはかりながら、中小企業の皆様のために実現してまいりたいと思います。

この新しい年が皆様にとりまして、良い年でありますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

謹んで新年のご挨拶を申しあげます。



株式会社ミロク情報サービス
代表取締役社長
最高執行責任者
是枝 周樹

日本の新たな船出

昨年の日本経済は、東日本大震災後の復興需要などを背景に緩やかな回復傾向が見られたものの、長引く円高やデフレ経済、さらに欧州債務問題や新興国における景気減速の影響が懸念されるなど、依然として不透明な経済情勢が続きました。そのような状況のなか、昨年末に第46回衆議院議員総選挙が行われ、その結果、3年3カ月ぶりの政権交代となりました。景気対策、財政再建、社会保障、原発・エネルギー政策、震災復興、外交・安保をはじめ、難易度の高い喫緊の課題が山積しています。日本の未来を真剣に考え、国民の期待に応える「誠実な政治」に期待したいと思います。

“誠実な経営”をまっとうする

昨年、MJ Sは設立35周年を迎えたの同時に、東京証券取引所市場

第一部への上場をはたしました。これもひとえにMJ Sを応援してくださる先生方や株主様、取引先様、従業員をはじめとするステークホルダーの存在があつてこそのことです。皆様方への感謝の気持ちを忘れず、本年から再スタートを切るつもりで初心に帰る所存です。

私はこの東証一部上場にあたり、肝に銘じたことがあります。それは、これまで以上に「誠実な経営」をまっとうすることです。政治の世界でも「誠実」でなければ国民の支持を得られません。私たちも「誠実」であり続けなければ、お客様の信頼を勝ち取ることはできないと考えています。

社会的な存在意義を高める

私が考える「誠実な経営」にはふたつの側面があります。ひとつは、コーポレート・ガバナンスです。MJ Sを

信頼してくださる皆様にご迷惑をお掛けしないよう、経営に透明性を持たせることです。企業経営は山あり谷ありで、良いことばかりが続くわけではありません。良い情報も悪い情報も社内です速に共有し、ステークホルダーの皆様にも適切にお伝えする。そして、悪い情報を放置せず経営改善に取り組み、さらなる成長を目指す。こうした姿勢を貫かなければなりません。

ふたつ目の側面は、社会的な存在意義を高めることです。MJ Sは会計事務所の先生方とともに、中小企業のIT化を支援し、中小企業を元気にすることを使命としています。そのため、お客様に心から喜んでいただける製品・サービスを自信を持って提供できるよう、絶え間なく改良を重ね続ける努力を怠らないこと。MJ Sの社会的な存在意義を常に自問し、それを追求するのも「誠実な経営」

だと考えています。

これからもお客様とともに

MJ Sは設立してから35年間、会計事務所の先生方に育てていただいた会社です。先生方の喜びは顧問先企業の発展・繁栄にあると思います。その顧問先企業がいま、非常に厳しい経済環境の下、不断の経営努力をされています。顧問先企業の経営を支え、発展・繁栄に導くことができるのは先生方しかいない、そしてそれは今後も変わることはないと私は確信しています。

MJ Sは今後も「誠実な経営」をまっとうし、そして先生方とともに顧問先企業を元気にできるよう、全社一丸となつて精進してまいります。今後ともご支援、ご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後に、諸先生、職員の皆様のご健勝を心より祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



「第37回全国統一研修会・東京大会」開催報告

平成24年11月8日(木)～11日(日)

政治および産業の中心東京で、「和にっぽんの心くかた
い絆で未来をひらこう」をテーマに、成功裡に
開催される!!

11月8日(木)～11日(日)、東京都千代田区の「ホテルニューオータニ」でミロク会計人会連合会の年間最大の行事「全国統一研修会」を開催いたしました。数学者で作家、そしてお茶の水女子大学名誉教授の藤原正彦氏による基調講演や時代に即した実務研修を中心に、1200名の参加を得て盛大に開催されました。

の祝辞を豆本義弘連合会副会長が代読披露、その後、来賓を代表して鈴木正徳中小企業庁長官と朝倉文彦東京地方税理士会会長にご挨拶をいただきました。表彰式では単位会表彰として、先の「第36回全国統一研修会・京都大会」を成功裡に開催された近畿ミロク会計人会が表彰され、林伸三郎近畿会会長に、賞状と金一封が贈られました。続いて協賛会社であるMJSの

11月8日の式典は、午後1時30分から朝居健大会実行委員とアシスタントの中井美穂さんの司会により、連合会役員およびご臨席いただいた鈴木正徳中小企業庁長官、朝倉文彦東京地方税理士会会長、石井幸夫千葉県税理士会会長、金子秀夫東京税理士会顧問、小西彦衛公認会計士協会東京会会長の来賓と協賛会社である枝伸彦MJS代表取締役会長、是枝周樹MJS代表取締役社長の紹介の後、金井塚清大会実行委員長との挨拶を皮切りに平川忠雄連合会会長挨拶と続き、城島光力財務大臣から



式典風景

賛会社であるMJSの是枝周樹代表取締役社長の挨拶、森専三郎大会実行副委員長から日本税理士会連合会の池田隼啓会長他の祝電披露、最後に小山内光雄大会実行副委員長との閉会の言葉により、式典が終了いたしました。

基調講演会は午後2時より馬場英晶大会実行副委員長の開会の言葉でスタート。数学者で作家、そしてお茶の水女子大学名誉教授の藤原正彦氏に



壇上の連合会役員



司会の朝居委員とアシスタントの中井美穂さん



開会の挨拶をする金井塚実行委員長



単位会表彰を受ける林近畿会会長



挨拶する平川連合会会長



ご来賓の方々



閉会の言葉を述べる小山内副委員長



祝電披露をする森副委員長



協賛会社挨拶をする是枝MJS社長



来賓挨拶をされる朝倉東京地方税理士会会長



来賓挨拶をされる鈴木中小企業庁長官

「日本のこれから」というテーマで講演いただき、尾谷恒行大会実行副委員長の謝辞と閉会の言葉で終了いたしました。

分科会は午後4時から3分科会を同時に開催しました。第1分科会は、東京ミロク会計人会・研修委員会とMJSとのプロジェクトメンバーの企画・運営で「プロジェクトM」近未来の事務所業務はこう変わる」をテーマに、馬場英晶大会実行副委員長の司会と吉村博一大会実行副委員長の開会の言葉でスタート。朝居健大会実行委員の謝辞と閉会の言葉で終了しました。第2分科会は、近藤宣之（株）日本レーザー代表取締役社長による「マイナスから出発し、さらに成長させたその実践策を開示」『経営破綻した会社をいかにして再建したか』というテーマで、榎本滋大会実行委員の司会と尾谷恒行大会実行副委員長の開会の言葉でスタート。齋藤龍弘大会実行委員の謝辞と閉会の言葉で終了しました。第3分科会は、歌舞伎俳優で日本舞踊坂東流家元坂東三津五郎氏による「日本人と歌舞伎の関係」というテーマで、戸能章光大会実行委員の司会と萩野紘一大会実行副委員長の開会の言葉でスタート、原俊大会実行委員の謝辞と閉会の言葉で終了いたしました。

※「基調講演」と「第1分科会」の要約は今号1月号で、「第2分科会」と「第3分科会」の要約は次号2月号で紹介いたします。

財務大臣のご祝辞

豆本義弘連合会副会長代読



財務大臣祝辞を代読する豆本副会長

本日、ミロク会計人会連合会主催による第三十七回全国統一研修会・東京大会が、盛大に開催されるにあたり、心からお祝いを申し上げます。皆様方におかれましては、国民の納税義務の適正な履行をはかり、これを通じて健全な国家財政の実現に向けた公共的使命を果たされる一方、納税の基礎となる記帳や会計処理をはじめ、経済の基本である企業活動、商取引の面においても指導的な役割を果たしておられることに對し、敬意と感謝の意を表するものであります。

さて、政府の最優先の課題は、東日本大震災からの復興とデフレ脱却、経済活性化であり、財務省としても我が国の厳しい財政・経済状況の中で安定的社会保障を維持するための税と社会保障の一体改革を推進するとともに、円高への対応等の課題に全力で取り組んでおります。

税務行政におきましては、国内外の環境の変化に的確に対応しながら、「適正・公平な課税と徴収の実現」という任務を果たし、国民の皆様の負託に応え、信頼を維持していくことが重要と考えております。ミロク会計人會には、全国八千余名もの税理士、公認会計士の先生方が加入され、関与されている企業数は、全国五十五万社強に上ると聞き及んでいます。先生方には、中小企業を元気にするための策を会一丸となって講じていただき日本経済の発展のために引き続き御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

このたびの全国統一研修会が実り多いものとなることを期待しますとともに、貴業界の益々の御発展と、御参会の皆様方の今後の御健勝をお祈り申し上げ、祝辞とさせていただきます。

平成24年11月8日

財務大臣 城島 光力

記念ゴルフ大会

参加者100名

大会翌日9日(金)は日本シリーズ開催コース「東京よみうりカントリークラブ」で、総勢100名の参加を得て懇親ゴルフ大会を開催しました。秋のすがすがしいゴルフ日和のなか、8時36分にOUTコース・INコース同時スタートしました。

コースは、今大会の終了後11月29日(木)〜12月2日(日)に国内メジャー最終戦「ゴルフ日本シリーズJTカップ」が開催された名コースです。多摩丘陵の自然を活かした設計で、オーソドックスでありながら、打ち上げ、打ち下ろし、ドッグレッグなど戦略性の高いレイアウトとなっています。最終18番は距離のある池越えの名物ショートホール。数々のドラマを生んでいることで記憶に残っている方も多いでしょう。

表彰式は渡辺勲大会実行委員の司会でスタート。石場健三大会実行委員の開会挨拶の後、武安紘二中国会会長をプレゼンターに賞品授与が行われました。ミロク賞は由井利光MJS常務取締役が賞品授与を行いました。個人別成績表は次頁の通りです。



開会の言葉を述べる石場委員



司会を務める渡辺委員



クラブハウス

【個人成績】

順位	氏名	グロス	HDCP	ネット
1位	河本 しげ子 (中国会)	102	31.2	70.8
2位	岡村 雅裕 (中部会)	77	6.0	71.0
3位	東 邦義 (九州会)	89	16.8	72.2
4位	東岡 常二 (中国会)	83	10.8	72.2
5位	松葉 秋水 (中国会)	95	22.8	72.2
6位	三浦 利勝 (中部会)	88	15.6	72.4
7位	小西 守 (四国会)	100	27.6	72.4
8位	川久保 和之 (東京会)	92	19.2	72.8
9位	野田 喜美 (中部会)	83	9.6	73.4
10位	小林 永二 (東京会)	106	32.4	73.6
11位	岩上 春満 (中部会)	88	14.4	73.6
12位	渡邊 慶三 (中部会)	100	26.4	73.6

【ミロク賞】

順位	氏名	グロス	HDCP	ネット
13位	佐藤 佳文 (四国会)	87	13.2	73.8
26位	下田 憲幸 (九州会)	98	22.8	75.2
39位	加藤 創一郎 (中国会)	91	14.4	76.6

■第5回単位会対抗戦は、優勝が中国会（河本しげ子、東岡常二、松葉秋水各会員）、準優勝が中部会（岡村雅裕、三浦利勝、野田喜美各会員）、3位が四国会（小西守、佐藤佳文、中村哲也各会員）。順位は、以下の通りでした。

※（ ）内：各単位会上位3名の成績集計対象者。

【単位会対抗戦】

順位	単位会名	ネット計
優勝	中国会	215.2
準優勝	中部会	216.8
3位	四国会	220.0
4位	九州会	220.6
5位	東京会	220.8
6位	近畿会	227.0
7位	関東信越会	227.4
8位	東北会	230.4
9位	沖縄会	232.4
10位	北海道会	232.6

※北陸会は、3名のエントリーがなく対象外



ベストグロスと個人賞2位、単位会対抗戦2位のトリアル受賞の中部会岡村雅裕会員



「東京よみうりカントリークラブ」名物18番ホール

■ニアピン、ドラコンは以下の通りでした。

【ニアピン&ドラコン】

スタートコース	ニアピン	ドラコン
OUT	OUT・2番	OUT・6番
	知花 直治 (沖縄会)	倉本 雅弘 (中国会)
	OUT・8番	
	藤本 正義 (四国会)	
	IN・15番	IN・16番
	山中 健利 (四国会)	佐藤 佳文 (四国会)
IN	IN・18番	
	森内 昭男 (四国会)	
	IN・15番	IN・16番
	加藤 敦司 (中部会)	若山 恵佐雄 (東北会)
	IN・18番	
	三井 学 (関東信越会)	
	OUT・2番	OUT・6番
	浅野 隆士 (中部会)	太田 一司 (四国会)
	OUT・8番	
	矢ヶ崎 清 (関東信越会)	



表彰式風景



展望台に向けて集合



新橋演舞場

景を比べられるのも目玉のひとつでした。東京タワーからは運良く富士山を望むことができました。その後、新橋演舞場へ。ここでは「吉例顔見世



東京タワー

（東京タワー）の電波塔の展望台からの風景を比べられるのも目玉のひとつでした。東京タワーからは運良く富士山を望むことができました。その後、新橋演舞場へ。ここでは「吉例顔見世

1日目は秋日和のなか「ホテルニューオータニ」を8時30分に出発、最初に「東京タワー」を訪れました。今回の旅行は、新（東京スカイツリー）旧（東京タワー）の電波塔の展望台からの風景を比べられるのも目玉のひとつでした。東京タワーからは運良く富士山を望むことができました。その後、新橋演舞場へ。ここでは「吉例顔見世



早朝のホテルニューオータニ

9日（金）から11日（日）にかけて「東京新名所と歌舞伎鑑賞&横須賀・鎌倉を巡る旅」2泊3日の記念旅行を催行いたしました。60名の参加を得、大型バス2台での旅行となりました。

記念旅行

参加者60名



マリニルージュでの懇親パーティ風景

へ。横浜湾をクルーズしながら「マリニルージュ」で「記念旅行参加者の懇親パーティ」が行われました。ジャズの演奏と歌、そして料理を楽しんだ後は、スカイデッキからの横浜港の夜景を堪能されました。

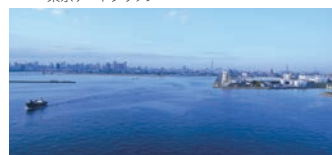


ホテルニューグランド

「ホテルニューグランド」は、クラシックホテルの代表例として名高く、マッカーサーが滞在したことで知られています。荷物を解いた後に山下公園の船乗り場



東京ゲートブリッジ



東京ゲートブリッジから東京湾を望む

大歌舞伎」の昼の部「双蝶々曲輪日記」と「人情噺文七元結」を鑑賞しました。それから横浜へ。「レインボーブリッジ」、「東京ゲートブリッジ」、「横浜ベイブリッジ」を見比べた後に、1日目の宿泊ホテル「ホテルニューグランド」へ。



新橋演舞場で歌舞伎を鑑賞



「YOKOSUKA軍港めぐり」で「潜水艦」に遭遇



記念艦「三笠」の船首にて



頭張れ大イチョウ



七五三で賑わう鶴岡八幡宮



鶴岡八幡宮の若宮大路を散策



地元の人もびっくりに逗子マリーナから望む富士山



小町通りに鎮座する「ろくでなし猫」

2日目は「ホテルニューグランド」を8時30分に出発し、鎌倉の「鶴岡八幡宮」へ。鎌倉のシンボルともいえる「鶴岡八幡宮」に参拝した後は、逗子マリーナへ。マリーナ内の「リビエラグランブルー」でイタリア

ンの昼食に舌鼓を打った後は、横須賀へ。アメリカ海軍第7艦隊や海上自衛隊の艦船を間近に見ながら、横須賀港の周辺を船で巡る「YOKOSUKA軍港めぐり」を楽しみました。下船後は「記念艦三笠」で、約100年前の戦艦「三笠」および当時の資料を見学しました。戦艦を見た後は、2日目の宿泊ホテル「帝国ホテル」へ。ホテルオークラ、ニューオータニとともに高級ホテルの「御三家」と呼ばれる名ホテルで、ゆつくりとくつろがれていました。



逗子マリーナの「リビエラグランブルー」で昼食



ミロク会記念旅行 1号車 平成24年11月10日 於 記念艦三笠

記念艦「三笠」で1号車の記念写真



曇り空の中の「東京スカイツリー」

3日目は8時に「東京スカイツリー」に向けて出発。エレベーターに乗り、地上から約50秒で350mの展望デッキに到着。残念ながら曇り空だったため富士山を望むことはできませんでしたが、地上450mの展望回廊からの眺めは実に見事なものでした。



2日目の宿泊ホテル「帝国ホテル」



ミロク会記念旅行 2号車 平成24年11月10日 於 記念艦三笠

記念艦「三笠」で2号車の記念写真



柴又駅前の「寅さん像」

それから柴又の「寅さん記念館」へ。「くるまや」のセットをはじめ、実物資料、模型や映像などで映画「男はつらいよ」の世界を堪能しました。その後、歩いて「柴又帝釈天」にお参りし、寅さんのふるさととしても有名な葛飾柴又へ。ここで鰻・鯉・川魚といえは「川千家」といわれる料理屋で昼食をとりました。昼食後は「皇居東御苑」へ。旧江戸城の



ミロク会記念旅行 平成24年11月11日 於 東京スカイツリー

「東京スカイツリー」で参加者全員の記念写真



「江戸城天主台」跡

ました。来年は「中国地方の旅」となると思いますが、またのご参加をお待ちしております。

その後は、羽田空港から帰られる方と東京駅から帰られる方に分かれてバスに乗りし、帰宅の途につかれました。



矢切りの渡し



「柴又帝釈天」



「川千家」での昼食

MJS INFORMATION

設立35周年記念パーティ盛大に開催される!!



「MJS設立35周年記念パーティ」風景

懇親パーティは例年連合会主催で開催していますが、今大会はMJS主催でMJS設立35周年記念パーティとして開催いたしました。狂言師茂山逸平さんによる、祝儀の舞「寿三番曳」の披露でパーティはスタートしました。その後、是枝伸彦 MJS代表取締役会長が設立35周年および東証第一部上場の報告と謝辞を述べ、平川忠雄ミロク会計人会連合会会長によるご祝辞、金井塚清東京会会長による乾杯のご発声と続きました。

MJSはCSRの一環として、スポーツを通じた社会貢献活動をサポートしており、400勝投手の金田正一様、一般社団法人日本サッカー名蹴会より金田喜稔会長、都並敏史副会長、一般社団法人志の会より杉山隆一理事長、釜本邦茂副理事長、元F1レーサーの片山右京様等、多くのスポーツ関係者にご列席いただきました。また、設立35周年を祝し、ロンドンオリンピック銀メダリスト「なでしこ



役員がお出迎え

ジャパン」のメンバーで、MJSがオフィシャルユニフォームスポンサーとなっている女子サッカーチーム「日テレ・ベレーザ」所属の岩清水梓選手、阪口夢穂選手、岩渕真奈選手、およびFIFA U-20女子ワールドカップの銅メダリスト「ヤングなでしこ」のメンバーである木下菜選手、田中美南選手、土光真代選手からのビデオメッセージが披露されました。



来賓のサッカー関係者勢揃い

しばらくの歓談の後、スペシャルゲストとして、女優・歌手として幅広く活躍されている小柳ルミ子さんの華やかなステージが行われ、皆様大いに楽しまれている様子でした。



次大会のお誘いをされる武安中国会会長

ステージの後、来年度の「全国統一研修会」を担当される武安紘二中国会会長に「次期大会へのお誘い」のご挨拶をいただき、是枝周樹 MJS代表取締役社長による結びの挨拶でお開きとなりました。



挨拶をするは枝MJS社長

なお、「第38回国統一研修会・広島大会」は、平成25年11月7日(木)広島市において開催予定です。是非のご参加をよろしくお願いいたします。

統一研修会レポート

基調講演

「日本のこれから」



〈講演者〉

藤原 正彦氏
ふじわら まさひこ数学者・作家・お茶の水女子大学名誉教授
〈プロフィール〉

1943年満州国新京（長春）で生まれる。46年9月引き揚げ（母であり作家、藤原ていによる「流れる星は生きている」に詳述）。66年東京大学理学部数学科卒業。72年ミシガン大学にて研究に従事。73年理学博士（東京大学）コラド大学助教授。76年お茶の水女子大学理学部数学科助教授。87年ケンブリッジ大学にて研究と教育に従事。88年お茶の水女子大学理学部教授。09年3月退任、名誉教授。

〈受賞歴〉

1978年第26回日本エッセイストクラブ賞、04年第4回フジサンケイ正論新風賞、09年平成21年度新渡戸南原賞、71回文藝春秋読者賞

〈主な著書〉

研究論文多数の他、『若き数学者のアメリカ』（新潮文庫、日本エッセイストクラブ賞受賞）、『遙かなるケンブリッジ』（新潮文庫）、『国家の品格』（新潮新書）、『ヒコベエ』（講談社）、『日本人の誇り』（文春新著）、『始末に困る人』（新潮社）、『藤原正彦・美子のぶらり歴史散歩』（文藝春秋）他

政治、経済ともに混迷をきわめている日本。はたして、これからの日本はどうなっていくのか。そこで、基調講演では『国家の品格』、『日本人の誇り』などのベストセラーを執筆したお茶の水女子大学名誉教授 藤原正彦氏を招き、講演いただきました。今号ではその内容をダイジェストで掲載します。

ここ10数年の日本は改革につぐ改革を行いつづけています。しかし、改革すればするほど、日本の状況は悪くなっているように思えて仕方がありません。たとえば、政府はデフレの真つ只中であるにもかかわらず、消費税を上げるようなことをしています。かつて消費税を上げたとき、消費税収が4・5兆円増えましたが、同時に法人税と所得税を合わせて7兆円も減るといった事態が起こったのに、ふたたび同じ過ちを繰り返そうとしているのです。

民主党は「コンクリートから人へ」と標榜しましたが、それも大きな過ちです。いらないトンネルや橋もあるかもしれませんが、それ以上に必要なのはいくらでもあります。老朽化したトンネル、橋、道路、病院や学校を建て直す、電線や電柱を地中化する、山林を整備するといったことはこれからも重要なことです。

不景気であれば、国際競争力を高めるためにもお札を刷るというのが定石なのですが、日本は一向にこれを実行しません。アメリカやヨーロッパや韓国がお札を刷りつづけたのですから、お札を刷らない日本が円高になるのはごく当たり前の話です。一刻も早く金融緩和で財政出動しなければ取り返しのつかないことになってしまいかねません。

実はこうした日本の衰退の要因は、国民によるところが大きいと思います。かつて日本の国力を衰退させた日中戦争のことを思い出してみてください。中国を侵略することに利はなく、政府も天皇も軍隊も戦争をするという意志はありませんでした。しかし、欧米の工作につられ、マスコミは戦争を煽り、国民はそれに煽動されてしまったのです。

つまり、政治家は国民目線を重んじすぎてはいけません。国民が推し量れないような視野で物事を考える、長期的な戦略を掲げる必要があるのです。では、どうして日本の政治家はリーダー的な資質がなくなってしまったのでしょうか。その一因は戦後、アメリカに言論統制され、活字文化が弱体化したこと、エリート養成機関としての旧制中学や高校を廃止させられたことにあると思います。

す。

では、エリートの要素とは何なのかというと、それは偏差値でも知能指数でもなく、教養です。とりわけ日本語をしっかりと学び読書に励むことが重要です。私たちの思考や情緒は日本語によって形成されます。つまり、日本語がすべての文化・文明の根本なのです。最近小学校から英語が必修になるという話があり、多くの人はそれを支持していますが、私にいわせてもらえば、そんな必要はまったくありません。

英語教育と同様に、小学校からパソコンの使い方を教えるという話もあります。しかし、子どもの頃からパソコンなどに戯れているのはパソコンやソフトを制作するための論理的思考を養うことができません。パソコンの使い方などよりも、数学などを教えることが大事なのです。日本は16名の自然科学系のノーベル賞受賞者を輩出していますが、彼らが子どもの頃に英語やパソコンの使い方を勉強していたかという点、そんなことはありません。みんな野山を駆けたり、模型飛行機をつくったり、喧嘩をしたりしていたはず。そのときに培われた情緒や感受性がノーベル賞という成果につながっていったのです。

日本は国語に関して、江戸時代

から高い識字率を誇っていました。

江戸時代の初期で識字率は男性が70%、女性が30%といわれています。当時のロンドンが平均25%~30%と推測されているので、いかに日本の国語教育が優れていたかがわかります。この国語力があつたからこそ、250年間の鎖国を経てからも、短期間で列強と並ぶ力を身に付けることができたのでしよう。

国語と同様、日本経済を牽引したのは日本型資本主義です。日本型資本主義は従業員への忠誠心、終身雇用と年功序列によって成り立ってきました。また、不況時には役員報酬をカットしていくなどの支え合いの体制がありました。しかし、これもまた政治家や経済人、世論によって破壊され、日本は市場原理主義に走ってしまいました。



基調講演開催風景

この間、世界は帝国主義、共産主義と過ちを繰り返してきました。新自由主義に関しても、今は国境を越えて人、物、金が自由に動くことが最良だといわれています。しかし、その結果が先のリーマンショックでありユーロ危機です。

神奈川県ほどのGDPしかないギリシャ一国が危機に陥ること、で、欧州はもちろん、世界中が危機に瀕してしまいました。

市場原理主義、新自由主義が蔓延するようになっていきますが、もともと日本人は金銭崇拜から遠い国柄を持っています。安土桃山時代、宣教師のフランシスコ・ザビエルは、金持ちが偉ぶらず、貧乏人が卑下していない日本人の姿を見て、褒め称えました。日本人は法律が未整備な状態にあつても、「お天道様が見ている」「先祖の顔に泥を塗ってはいけない」という心を持ち、真面目で実直、羞恥心を持ち、おだやかに生きていたのです。海外から来た人たちはその姿に心を

打たれ、数々の記録を残しています。日本人は貧しいがみな幸せそう、と。

こうした日本の姿は、海外から見ると明らかに「異常」です。改革によって、欧米型の「普通」な国になろうとしています。絶対にならなうとはいけません。また、この異常性の根源でもある日本的な情緒を失ってはいけません。日本人は昔から書でも茶でも花でも、すべて芸術に高めてきました。そのなかから生まれた芸術品は海外の優れた芸術家たちを虜にしつづけてきました。この情緒のベースにあるのは日本の自然や里山、四季の美しさです。だからこそ、TPOなどに迎合することなく、農業と美しい環境を守らないといけないと思うのです。

ところで、日本の武士道の中には「惻隠」という考え方があります。これは弱者を救うという考え方なのですが、今の日本にはまだこの心が残っています。東日本大震災の後、日本人は懸命に被災地支援に尽力しました。また、災害や復興活動の最中、自身を省みない献身的な活動も数多く見られました。新自由主義の後はこの惻隠を中心に据えた思想を広げていくことが重要です。それがいずれば世界、そして人類に貢献することになると思います。

統一研修会レポート

第1分科会

プロジェクトMへ
未来の事務所業務
はこう変わる

第1分科会 開催風景

近年、インターネットや電子申告の普及など、会計事務所における業務形態が大きく変化している。そして、その変化にともない、多くの事務所がペーパーレスやデータの整備、セキュリティといった課題を抱えている。そこで、今回はMJSと先生方によるシンポジウム形式で、事務所におけるITの活用方法や活用時の注意事項について発表し合った。

まずは先生方にIT化による事務所や周囲の変化についてお聞きしたいと思います。

奥村 事務所の近所の回転寿司店に行ったところ、そこはタッチパネルを使っているように注文するようになっており、注文するときにアツという間にレーンで寿司が運ばれてきました。お皿の枚数は従業員が数えていましたが、寿司のロスがなくなるので、うまくITを活用しているなど感じました。

馬場（聴講者） 私はタブレットを使っていますが、最初はまったく使い方がわからなかったのですが、息子に指導を受けながら使い方を勉強しました。今は顧問先の目の前で仕事ができたり、資料を提示したりすることができるようで重宝しています。

紙媒体の電子化について、先生方にお聞きしたいと思います。

治田 私はずっと前から新聞の切り抜きをつけていますが、スクラップブッ

クがたまってしまう、机の周りが大変なことになっていました。そこで、コンピュータに取り込み、整理するようにしたのですが、おかげで資料を探しやすくなったように思います。

立花（聴講者） ペーパーレスに取り組みはじめて、3年が経過しました。今は決算業務や申告業務もペーパーレスで行っています。紙のときのようにスペースをとらないのが最大の魅力ですね。

MJSの笹さんに「ACCELINK NX-Pror」の特色をうかがってみました。

笹（MJS） クラウドコンピューティングの普及によって、会計事務所の業務やワークスタイルに変化がもたらされることと思いますが、クラウドの「いつでも」「どこでも」という利点を活かすためにはペーパーレス化が前提となります。「ACCELINK NX-Pror」はペーパーレス化を視野に入れたシステムになっています。たとえば、必要な書類をすぐに取り出せるようにキャビネット機能の利便性には徹底してこだわりまなつており、顧問先ごとにデータをすぐに取り出せるようになっているのです。また、システム上で文書管理機能である「ファイリング」を起動できるようになっているため、データ検索が非常にスムーズに行えます。さらに「iCom PassリモートPC」を利用すれば、ご自宅や出張先からでも事務所のパソ

コンを遠隔操作することができるようになっています。

次に考えてみたいのがパブリッククラウドとの連携です。「ACCELINK NX-Pror」のスケジュール機能と、Google社の「Googleカレンダー」は連携することができます。この連携機能を利用すれば、パソコンやスマートフォン、携帯電話などで簡単にスケジュールを同期することができ、外出先でもスケジュールを参照したり、登録したりすることができます。もうひとつ活用したいのがオンラインストレージです。これはクラウド上の仮想スペースに自分専用のディスク領域を確保するというものです。顧問先との一時的な情報共有などに非常に便利だと思います。

IT化にともなうセキュリティ問題についてお聞きしていきたいと思っています。

岡田 セキュリティに関しては、まずハッキングやウイルスなどに注意しなければなりません。私の事務所ではノートパソコンのセキュリティソフトを導入しています。が、今のところ被害はありません。また、事務所の外にデータを持ち出すときも注意を払わなければなりません。私は持ち出すときは事務所からノートパソコンに移すようにしていますが、今後はMJSのシステムやクラウドを活用して、直行の際に事務所に立ち寄る手間やデータを紛失するリスクをなくしていきたいですね。

奥村 会計データは税理士事務所の財



出演した東京会研修委員会委員(左から岡田茂朗、治田秀夫、奥村伸二委員長)とJMSA世正博部長

産だと思っています。ですから、東日本大震災で事務所が大きく揺れたときは、本当に不安になったものです。ですから現在、私の事務所では自宅と事務所、それから四国の顧問先のところまでデータをバックアップするようにしています。

—セキュリティに関する注意点はありますか。

笹 セキュリティ対策は、ウイルスからの保護、外部からの攻撃の防御、内部からの情報漏えい対策、バックアップとその適切な保管方法の4つに大別されます。ですが、それ以上に重視しないといけないのは、自分の身は自分で守るという認識です。先ほどGoogle

カレンダーやオンラインストレージの活用をご紹介しましたが、これらの無料サービスにはセキュリティに対する保証は付いていません。そのため、たとえばGoogleカレンダーに顧問先の個人情報などを書き込んでしまったりすると、それが流出してしまう恐れがあります。同様にオンラインストレージ内に試算表や申告書などの重要な情報を無防備に格納してはいけません。かならずそれぞれのデータにはパスワードをつけて暗号化し、使い終わったファイルはすぐに削除するように気をつけて運用してください。また、スマートフォンを狙ったウイルスも数多く出回っており、アドレス帳に登録された個人情報盗み取られるといった事件も数多く発生していますので、安易にアプリをダウンロードしたりすることなく、ウイルス対策をしっかりするように気を付けてください。

—SNS(ソーシャル・ネットワークキング・サービス)の利用についてはいかがでしょうか。

笹 最近「ツイッター」や「フェイスブック」といった無料のSNSが急速に普及しており、ビジネス面でも利用されるようになってきました。ツイッターやフェイスブックを使って、商品やサービスの情報などを発信するのが一般化しており、今後ますます拡大することが予想されます。

—先生方はSNSをどのように活用されていますか。

岡田 私もフェイスブックを利用してはいますが、今はほかの人の情報をチェックするのが主です。ほかの人のページを見ると、なかには家族や友人などの情報が写真も含めて大量に掲載されていることがあります。それにはちよつと不安感を覚えます。これからは使う側のリテラシーも求められてくるのではないのでしょうか。

糸数(聴講者) 私はSNSの勉強をするつもりで、フェイスブックを使いはじめました。使いはじめて1年半ほど経ちますが、正直いつて営業で使うのは難しいと感じています。というのは、フェイスブックにあがっている情報はプライバシーに関する情報が多く、仕事の宣伝ばかりしていると嫌がられる傾向にあるからです。ですから、今は同世代の経営者の方々にちよつとした情報を発信する程度にしています。

—こういった時代の変化に対して、MJSはどのように対応していくのでしょうか。

笹 今後もマルチデバイス対応(サービスを複数の端末で共通利用できる仕組み)を積極的に推進していきたいと思っています。また、顧問先向けのシステムについてもクラウド化をすすめる、企業様が気軽にサービスを使えるような環境を整えていきたいと思っています。さらに、いずれは会計事務所を通して、顧問先がクラウドサービスを利用できるような仕組みを構築し、より税理士事

務所と顧問先のつながりを強化していきたいと考えています。

—最後にそれぞれの先生に近未来の会計事務所についてのお話をうかがいたいと思います。

治田 私の事務所ではほとんどのIT作業をスタッフがを行っています。その分、私は顧問先と直接会うことを心がけているのです。自分ですべてのことをするのはなく、職員たちと協力し、それぞれ得意な分野の業務を展開していくことが大事だと思います。

岡田 ペーパーレスや電子申告は手間や経費、スペースを削減することができそうです。とはいえ、私たちはいかにITが発展しても、日本人らしさや日本人の良さを失わなようにしなければなりませんと思います。たとえば、いつもメールで用件を伝えるのではなく、フェイスブックやフェイスのコミュニケーションも大切にしなくてはならないと思います。

奥村 今の子どもたちは当たり前のようにITと接しているので、これから先、ITはより身近なものになっていくでしょう。だからこそ、ITに関する部分はMJSにある程度お任せし、私たちはそれを使いながら、人でしかできない会計事務所業務を展開しなければならぬと思います。

笹 MJSとしては激しく変わるIT環境のなかで、先生たちと協力しながら、中小企業のIT化、業績の向上にも努めていきたいと思っています。



会計人の リレーエッセイ

関東信越ミロク会計人会 井上 泰一

ドライブの楽しみ

平均すると、月2回位、週の後半になると今週はどこに行こうかと、家内と道路地図をながめます。6年ほど前、所属する税理士会浦和支部の支部長退任を機に、税理士会の会務を卒業致しました。ふたりの子どもも社会人になり、それまでと比べて週末に自分の時間が持てるようになりました。そこで、若いときからかねがね乗ってみたいと思っていたスポーツカー（Z33）を購入して、まず関東地方を皮切りに日帰りドライブをはじめました。車の運転は若いときから大好きで、適度の緊張感と気分転換ができ、家内とふたりで時間に縛られず、気ままに出かけ、それぞれの地域のおいしい食事を楽しんだり、温泉につかったりすること、私にとってのストレス解消に最適だと思います。



自分で実際に「Z33」に乗ってみて実感したことは、それなりのトルクがあり、加速する反応もハンドルの切れもよく、自分の意のままに車を操れる感じで、運転が楽しく普段乗っている他の車と比べて疲れを感じません。車の運転が億劫になったり、長距離ドライブ（高速道路を使って1日の走行距離450〜500km走ること）が嫌になったりしないことが自分の若さを測るバロメーターかなと思っており
ます。

私が住んでいるさいたま市から、片道200〜250kmの範囲に多くの観光地があり、この6年間でそのほとんどを訪れました。

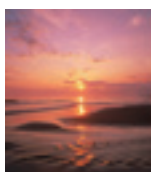
また、箱根をはじめ、関東地方各県には、多くの美術館があります。出かけて行って素晴らしい美術作品に生でふれることも楽しみのひとつです。

「Z33」のおかげで、以前に比して行動範囲が広くなり、いろいろと見聞が広がり、本当によかったと思っています。これからは、泊まりがけでもう少し遠くの方まで、出かけて行きたいと思っています。まず体力があるうちに、大好きな「古代史」の宝庫である、奈良県大和路、紀伊半島あたりや、東北地方を気ままにドライブしてみたいと思っています。

表紙の写真

「オホーツク海から知床連山の初日を望む」 (所在地:北海道斜里町)

知床連山とはオホーツク管内の斜里町と根室管内の羅臼町にまたがる、羅臼岳(1661m)から三ツ峰(1509m)、サシルイ岳(1564m)、オッカバケ岳(1450m)、南岳(1459m)、知内別岳(1544m)、硫黄山(1562m)といった山々のこと。古くから知床半島の「屋根」として親しまれ、四季折々の姿で登山客たちを楽しませている。表紙の写真のようにオホーツク海越しにそびえる知床連山と初日の出の光景はまさに「おめでたい」の一言。手を合わせて、日本経済の復活を祈念したい。



月刊 税理士事務所 Channel

通巻 377 号

- 発行 行/株式会社ミロク情報サービス
〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-29-1
TEL. 03-5326-0304 (ミロク会計人会事務局)
- 発行人/是枝 周樹
- 編集企画/ミロク会計人会連合会広報委員会
ミロク会計人会事務局
- 配信制作/東方通信社
- 印刷/株式会社シナノ
- 購読申込/株式会社ミロク情報サービス
- 禁無断転載

※本誌に掲載されている会社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。
お詫びと訂正/12月号の「我が事務所の顧問先紹介」の顧問先企業の電話番号に誤りがありました。正しくは076-269-2211(代)です。謹んでお詫びし、訂正いたします。

I-O DATA

データの安全性^{*}を追求した

RAID 6 対応 NAS

※お客様のデータを保証するものではありません



RAID 6 対応ネットワーク接続ハードディスク

LAN DISK XR

ランディスク

HDL-XR シリーズ

2TB	HDL-XR2.0	4TB	HDL-XR4.0
8TB	HDL-XR8.0	12TB	HDL-XR12T

注目機能 1

ハードディスクの障害からデータを守る

RAID 6

リビルド中の HDD 故障でもデータを失わない「RAID 6」に対応。任意の 2 台のハードディスクが同時または立て続けに故障した場合でもデータの損失を防ぐことができます。



ホットスワップ対応
電源を切らなくても
ディスク交換可能



RAID 5 だと



1 台のハードディスクの故障のみ復旧可能でした。

RAID 6 だと



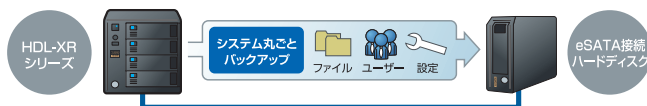
2 台のハードディスクが同時に故障した場合も復旧可能です。

注目機能 2

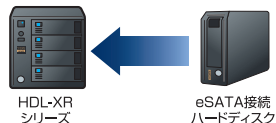
外付ハードディスクによる柔軟なバックアップ

- ☐ ファイル、ユーザー設定丸ごとバックアップできる
「eSATAミラーリング」

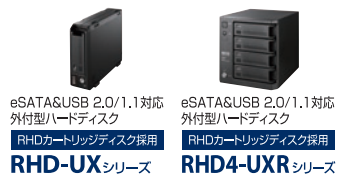
eSATA 接続ハードディスクを増設



万が一、LAN DISK のハードディスクが全て故障した場合でもデータを戻すことができます。



対応 eSATA 接続ハードディスク

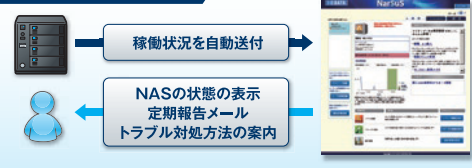


注目機能 3

専任の管理者が居なくとも楽々管理

NAS の稼働状態を自動的に収集し、WEB ブラウザ上で視覚的に把握が可能なクラウド状態管理サービス「NarSuS」が無料で利用可能。管理者の負担軽減はもちろん、万が一障害が発生した場合も対処方法が NarSuS 上で案内されるので専門知識の無い方でも安心して運用できます。

NarSuS サービスイメージ



●I-O DATA® および I-O DATA® のロゴは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。●その他、一般に会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。●本製品の仕様・仕様は予告なく変更することがあります。

●製品の色合いは、撮影・印刷の仕上り上、実物とは多少異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

株式会社 **アイ・オー・データ機器**

www.iodata.jp

製品選びで悩んだら!
インフォメーションデスク

TEL.0120-777-618 月曜日～金曜日(祝・祭日を除く) 10:00～17:00

※おかけ間違いのないようお願い致します。 ※携帯・PHS・IP電話からもご利用いただけます。